

This copy has been provided by the UBC Archives [or UBC Rare Books and Special Collections] and is to be used solely for research or private study.



PLEASE RETAIN  
ORIGINAL ORDER

II. 2



木口ウツリヤナシ。前へ

米加に於ける

ユタヤ人排斥と

ナチスのユタヤ人殺

ID FREE  
8.5  
NCR CORPORATION  
TION, VIRGINIA



米加のユダヤ人の排斥  
ユダヤ人の排斥

一、米加に於けるユダヤ人の排斥

一、数面の僻居地に排斥が起る

「異教徒の排斥を不許」

ユダヤ人の排斥の意

一、猶太人の種であつたと言ふ大けの

理由で仕事口を貰へない

一、多くのホテル、レストランは

ユダヤ人の客を拒む、即ちゴ

ルフ、クラブ、スキー、クラブ

及び社交娯樂場等も同様排斥を

されて居る

一、猶太人を先嫌ひする排外主義

を「カチガ」猶太人排斥協会」

の名で、郵便状式（チェンタ）  
で世間へ出す。



一、十ヶ所の宣伝放送から取った  
やうな猫太の排斥文句の経緯や  
ユダヤ商売の名前を書き並べ  
、本買同盟を勧める印刷物を所  
で行人に配布する

一、トロツキの或る猫太の家  
庭には母がこれより十ヶ所張り  
の顔面状が度々ある心算だ

一、組合党主モリス、カフレス  
氏は、其指導者たる

「サイオニスト萬五同胞会」様

ユダヤ人十万人をクベツク等の農

園に入植せしむ計画をせしむる

と云ふてやかましく攻め立てる

此れだ、猶太人は其指導者たる



カタシの商工

一、昨冬トロコト、のペリスコーポ  
書店を売り出された「ミオ」の  
長老達の記録本」と称する本  
は猶太人排斥の爲めに作られた  
偽造記録本だ、

一、此の春々々々々々で新築しそ  
竣工し、~~昨日~~献堂式をやると言ふ前  
日に放火で焼かれてしまつた。

右の事實がナナス、ドイツの友人  
ナナスを驚かさんと云ふが、  
の今日此のカタダに起つ、ある  
のである。

一、看護婦が我は猶太人看護婦と入  
院には猶太人看護婦を見ない日



カナダの猫太

Gen Amherst      Aaron Hart  
城した時アマーリスト将軍麾下の兵  
の重要人物であり一七六の年佛軍  
がクヤックの奮闘を試みた時これ  
を撃退した存在であり、彼らは一  
七六の年英軍がモントリオールに入  
アマーリストと云ふて一七六  
に定着したのがある、  
力十の定着は猫太人の第一着は  
存在する様に成つてから猫太人は永  
る、一七六三年英軍が占  
十の力がつて大領土あつた次に逆  
調へると十七世紀の初頭、あた力  
猫太人と力十の歴史的關係を  
力十の力に居る猫太人



Henry Joseph

猫を人であつた。  
力十のウチヤ系市民は、早く  
から自家の産業の創始時迄に、  
活動をして居る。此のウチヤ、  
フランクと言ふ男はアメリカの  
独立戦争の時、英軍側に戦つた勇  
士だが、彼れは戦後力十の西、  
北部に獣皮貿易業を有るに成つた  
一人で、彼れは単独で、力十の  
獣皮貿易の商社を開拓した人であ  
る。  
英王と力十の貿易高航の直行路  
を開拓した、力十が船主の一人と  
ある。彼れの子、此のウチヤ、  
力十の電信開通の恩人といふ。



大西洋の海底電信の大陸線系統を  
完了したもののニュー・フランクランド  
合社の株主であった。

彼はまた別の鉄道建設にも助力  
をせし、スウェーデン市に力加し最  
初の電燈及び電話を創始した功勞  
者でもある。

一八〇七年、アムステルダム  
子、エセキエル・ハート氏は、民  
衆の大多数の投票に依りて、スリ  
ム・ハート選挙区から代議士に推し  
出された。

一八〇八年一月廿九日、閣下宣誓  
式の時、彼は工部式に、頭  
部を布に包み、旧約聖書を持つ  
て其の式に臨んだ。



ID: F1111  
85  
NTER CORPORATION  
TION, VIRGINIA

其の異った形式、爲めに

議會は多岐決に依つて、彼の代

議士就任を拒んだ。

一八三一年二月七日、力十の

二外や系の人々は、議會に平等を

有市民権を認可する、~~莫~~請、~~莫~~款を

提出した。

其頃は已に猶太人に対する政治

的敵愾心は消えて居た、其時

議會に規定通りの宣誓の用「ク

スヤ」の真の信仰に依つて云々

しからず除外し入籍し得ると言ふ

法案を提出したが、大した反対論

も出ない、其法案は通過し、一八

三二年六月五日、愈々帝室の認可を

受けた。



LIBRARY  
85  
PACIFIC COLLEGE  
STON, VIRGINIA

力十ダは斯うして、英属領中を  
一番に其の猶太系住民に對し、政  
治的解放を斷行した訳である

その後日一八六〇年に少シ

少島野セリム、フランク・氏が

議員に當選した時に此の定誓除外問

題に論争があつたが事無く解決し

た。

十九世紀の中葉迄に力十ダに移

住した猶太人は主として英属や、

英殖民地から入殖したものであつ

たが、一八五〇年以後はドイツや

ポーランド系猶太人が目立つる増

加し始め、到境する口をヤ系、ハ

シマニヤ系の猶太人が其を排斥

し虐殺に耐え兼ねた所々の里を力十



ID. FILE  
65  
INGER CORPORATION  
STON, VIRGINIA

外に~~これ~~めて益々猶太人種が増加  
列しく成つて来た。

一九二一年のカタダの猶太人種  
の総人口は一六八・三六七人であ  
つた、カタダ総人口の一分五厘  
に当る数である。

此数はカタダの市民の大部分を  
成る英、佛、スコッチ、アイ  
ルランド系並にドイツ、エスレ  
ニヤ、アビスカ、デトウヤ系とい  
ふ此の人種より少数である

一九三一年から二一年の十年  
間にカタダ猶太人の増殖率は八分  
五厘に達した。猶太人の増殖率は八分  
と比較すれば他人種より出生率は  
は底りの数である。



一九二一年調査の<sup>カチ</sup>猶太人総人口  
の半数以上はカチダ生れである。  
他、英属領生れ二七〇、米国生れ  
三七〇と成つて居る。  
而して他国生れの猶太移民の中  
口シヤ生れが断然多数を占めて居  
る。其次がバルミアンヤ生れと、不  
加ラド生れとドイツ生れの猶太  
人は極少数である。  
カチダ聯邦に位は猶太人口の八  
二%はカチダに定着して居  
るのは事実である。  
猶太人は猶太人ばかりでなく他の人  
種も殆ど同様と言へる。と言ふの  
は、大體カチダの総人口の七二%



10-11-11  
85  
INGER CORPORATION  
TION, VIRGINIA

千八回、東部地域に居住して居る  
のがあるからである。他の人種と

過去三十一年間の傾向をみると、  
猫太人は漸次散居して、ある程度

である。二十の猫太人は十人以上

目下力十分全体に一千五百四十六

の自治市町村があるが、それは住民

が五十名位しかなく、山村塔から人

口八十五人以上の大都市を総括し

ていがあるが、猫太人は其四二名の

市町村に散居して居る姿を見出す

、新進の入り力十分の猫太人の自

然増加率は（出生数から死云数を

差引いたもの）力十分は一千人に五

し七、四人の割に成って居る、

力十分は全体としてその増加率は一



ID. FR. 12  
8.5  
INGER CORPORATION  
STON, VIRGINIA

千人に對し十人半あり。

猶太人種の就職率は他の人種と

殆ど<sup>平均して</sup>大差ないが、彼等の職業的分

布は、著しく異つてゐる。

約六万二千の猶太系八十才以上

の~~が~~雇庸されてゐる、即ち十才以

上の総人口の四七%で力十才以上

四十才以上の就労率四八%と比べ

て僅かの減少を認めて居るのみである。

職業的分布について、今少し

正確に比較研究する爲めに、代表

的、標準として百人が、を猶太系

及び<sup>他</sup>他人種から擧げると、区

分と見る、

即ち百人の猶太人種の中

は工場勤まり、二人は小賣商人



ID: FR 12  
 8.5  
 INTER CORPORATION  
 CTION, VIRGINIA

	工外系	他人種
工場労働	二九	一一
小賣商	二〇	七
早稲田	一〇	〇
建築及請負業	四	六
行商人	四	〇
普通労働者	三	二
卸商人	四	六
運輸業者	三	八
プレス業	二	〇
事務員	二	三
見本商人	二	〇
農業	三	三
ファッションパー。現金繰。パパーハ	三	三
シ。パー。俳優員、辯護士、医者	三	三
床屋各一名	三	三
銀山業	三	三



ID: F111  
8.6  
INTER CORPORATION  
STON, VIRGINIA

漁業、木材業

電力、見本商人

保険業、コック

教師、落記業

各一名

一〇

後人、ブツキバ  
猶太人は、金配と文配とと排斥の害に  
現在、所、力、十、金配業に就

る、猶太人一人に對し六人

の猶太人農家が在る割合に成つて

居る、而も一千人の産業労働者

の中僅か二人が金融業である、

此れに對し総人口の上から見る

と一千人の内三人が金融業である

るを見る。

猶太人の木材業は、山及び炭坑

業に就する者が増加の傾向を示



1000  
INGER CORPORATION  
STON, VIRGINIA

二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

紙人工場

しとる

若し由、玉民が産業方面に発展  
するが、最も玉民の爲めに  
最も可なり傾向にあるとあるが、  
、力十分に計ける猶太人種の就職  
状態は、實に賞讃に値する傾向  
にある。右表の市を如く他人種の  
それより由、産業界に活動して居る  
数が三倍の多量を示して居るの事  
ある。

猶太人種が力十分産業に入るに  
際し、競争は決して正成産業を排  
除したるに反し、常に新たな産業  
及び其の改良発展を遂げたとある  
。右表の市に在る猶太人  
米商や力十分には男、女用の仕



WATER CORPORATION  
STON, VIRGINIA

ユダヤ人

緬人工場

Ready made suits

毛皮の製法及び色  
毛皮服、洋服、帽子、皮革靴、などが主である

立服、洋服が在るが、あれは米、

加の猶太人が考案に成る新産業である

今から五十年以上も前に已に、

猶太人農家は西部カチの荒野に

鋤き入れた。而して今や綿花等の

力に依つて年々小麦七十五万ブツ

也。(我が約一斗)、小麦及び大

ト小麦の數十万ブツを産出し

る所々の所ある、又た莫大である

量の野菜類及び家禽、家禽を生産

し西家の食料に貢献して居る。

カチの土に最初鋤き入れた

猶太人農家の記録が一八八二年に

已に見られる、而して現在迄到



ユダヤ人

緬人工場

き農業を営んで居る者の中で最も  
古い草分けの入植地は一八八八  
年と成つて居る。

一九四五年の調査では、猶太人  
と英語が通ぜぬ者は百人中僅か  
三名であつた、其の新年の調査で  
は七人であつたが、僅か三人に減  
つた。

過去四十一年間に、カナダに於け  
る、銀行、鉄道、太洋皮の運輸等  
の大企業及び電話、電報、公衆  
施設、又は製紙業等々に唯一人  
も猶太人の重役の就任をして居るの  
を見ない。

誰方でも、カナダには猶太系は



10 FREE  
8.5  
INGER CORPORATION  
STON, VIRGINIA

ユナイテッド

紙人工場

者や辯護士が無暗に多量に言ひ  
噂さるは、此の人はたの数字を  
味あるが、い

一九三一年の調査では猶太人の  
家は労働者の総数は五八二名で、  
それに對し猶太人辯護士三五一  
名、  
外科、下科医が三三九名と  
言ふ数字を示して居る事をいへば  
思ひ中ばに到るものがある。

力加猶太人と戦時の貢献  
力加猶太人は猶太人の戦後の  
貢献は、常に不変と努力と、其の  
働きの偉大であつた事は、社会  
歴史に特筆大書すべきものがある。  
開戦初日から猶太人は實際的に



ユナイテッド

紙人工場

精神勸告を行ひ、其の立場に  
於て、大戦勝利への大努力を果敢  
した事は一般の認むる事である。  
力十分猶太人の戦後の働きは完  
全なる記録を政府として取つて  
居るが、一力十分猶太人議會レ  
ットに在るは此、国家的努力  
の甚大なる貢献を記録し、其の協力  
せんと企てた、其の陰で猶太人種  
が精神を成した所の戦後の働  
きの大畧を知りて出た。  
従軍、

猶太軍兵士は、力十分猶太人の  
戦った各戦場に其姿を見せた。彼  
等は第一遠征軍に参加して来た。



ユダヤ人

新人工場

彼等は香港を戦ひ、又たフランス  
のデエーアの攻撃に参加した。  
猶太系水兵は大西洋上に荒れ狂  
ふに、潜水艦の掃揚に怒濤と戦  
つた。空中戦に於ても敵艦攻撃士  
戦者の比率は他人種よりも高かつ  
た。猶太人系兵士はアフリカ大陸  
カサブラマに加つて居た。抑々そ  
レタリーのレレリー上陸戦には、  
其勇敢ある戦闘員の名を挙げ  
た。或はフランスの戦士に、戦  
艦横断の崩壊に熱心な忠誠を以  
て、彼等の力と力の為めに戦ひ  
続け、其後と雖、対日戦の右に細  
に其等の戦争努力を惜まらなかつた。



ユダヤ人

新人工場

或る報告書に曰ふ、カチガ内  
廿一个都市に在る、猶太人  
後年<sup>田子</sup>齡者一人残り志願したと  
、又た猶太人家庭で国家の危急に  
対し其の最善を捧げて居る家庭  
は毛、オタワのラビ・メーサー  
は七人の子息を戦場に送つて居り  
、オタワのスト一家・トロ  
のスピリット、カムサツクのオ  
ルフマ、<sup>ウニペグ</sup>カスター一家  
五人の、軍人を出征させて居る。  
国防省の統計は、兵士の宗教別  
人種別を示して居るが、外ロスト  
の猶太人<sup>府の記録</sup>会に記録した数字は  
正確では無いにして、猶太人



RED FREE  
E.S.  
PAPER CORPORATION  
ASTON, VIRGINIA

二、三、八、三

紙人工場

今が最善の機会と導かれたゆゑの事ある。猶太人種男女従軍数

力十外陸軍 一〇、一六

力十外海軍 五七三

力十外空軍 五、八七〇

死傷数 一九四五年七月現在

死 二〇一

病死 五〇

行衛不明 一四五

負傷 二九八

浮屠 七七

猶太人兵隊は各級の勲章を授け

せられ、者百十八名

赤十字運動中非常な成績を挙げ

猶太赤十字支部長サムエル



10 FREE  
8.5  
AGER CORPORATION  
STON, VIRGINIA

二、三、八、三

秘人工場

フロイド夫人は、皇室名譽勲章  
を賜ひ、海軍消防隊長として  
帯び、アートル氏に感状を  
授けられた、人種編見  
力た猶為人協會は力た如の  
陸海空、将兵の爲めに接持所を各  
地に設けて聯合軍の将兵を慰問し  
たりとあつた、此等婦人の仕事は  
此の外鏡後の完全募集には他の  
人種より由固まつて活動したるは  
特等には優れある、  
猶も教かり力た陸、海、空各  
軍へ九名の従軍僧が出で居る、彼  
等は戦場に、海上に故郷を離れて  
遠征の途に在る者の慰めを慰



INDEX  
INGER CORPORATION  
STON, VIRGINIA

二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

戦人工場

はり、戦死者、霊を吊り、戦士とし  
て戦死に多く、その存在を示す  
あつた。

以上の議論として猶も人排斥は  
究極である所「人種偏見」と言ふ  
事に成る。

ヒトラーは所謂純血運動と言  
ふべき新行、其田中亦ある人種  
偏見の故に次ぎに述べたる如く  
人種も天中許さぬ大衆を救行  
した、一人種偏見が、いかに国民  
主々致すあり、人種の敵、平和の  
仇であるかを流る、昔に味方ない  
為めに戦争中に起つたドイツ軍  
部の惨害行為の、その一部分  
を摘録する。

①



WIDEN  
8.5  
INGER CORPORATION  
STON, VIRGINIA

ユダヤ人

緬人工場

一九四五、十二月十日

ニユレハ、戦犯者裁判所にて

ドイツ戦犯者主判連は、聯合軍側の

擁護が

「ドイツは一九四四年八月迄に、

六百万の政財工外や民族を一除く

、三千五百万のポーランド民を

ドイツ帝制下の奴隷化せんとして

居た」と言ふ峻烈なる論告を肯定

したと言はれ、欧州に於ける全工

外や人を盡滅せしめんと論じて居た証

援が第何れも居る、と報じられ

る、

たに観望したものは二五、二一

ケタムスの一九四四、八、三〇

①



記すの挨拶である。

十4人の職人工場

ウヰリヤム、H、ローレンス記者、

私は地球上で最も恐る可き場所

を私の肉眼で見た、即ちポーランド

のマイタニクに在るドイツの抑

留所、正直正銘の職人工場場の

である、(私の製造工場)

の職人及びポーランドの富貴階級

の見積りには過去三年間に、二一

ロツバの各職人が、百五十万人は

共所を職されたであらうと言ふこと

とある。

此の場所こそ、嘘か真かを信ず

る為めに一夜見を置かぬは、成るぬ



3

受ける。

私は各地で惨害行為の調査に数多く立会ったが、未だ嘗てこ

んど判然とした、ドイツ人の戦争

犯罪の完全な証拠を見出すことが

つたことがない。

此のマイネンゲの殺人工場を見

て以来、私は如何なるドイツ人の

惨害行為の証をも、それを直ぐ信

ずり標に成った、如何にそれが野

蠻であるか、惨害を如何に

私は角々隅々皆見た、私は目ばりとした瓦礫室を見た

其の中に犠牲者達は窒息して軀を

焼いたものがある。而して其死体を火

葬にした熔爐を見た、



④

イ聯軍がホードのラフリ近  
郊に改め寄せた時、狼狽して逃げ、  
焼きた<sup>一ホードの死体と</sup>骸骨の山とを  
見た。  
私は焼屍爐の側に山と積まれ、  
やがて十里<sup>東の</sup>を走った。  
スキーのキヤデ、肥料とくそ  
散布<sup>を</sup>人骨のうす高い山を見た、  
私は三百十八人の<sup>半ば腐敗した</sup>男、女、子供  
の死体を纏めて投げ込んだ。ある穴  
の蓋を開けてあるのを見た、其の  
蓋はマイクニクで惨憺、を驚愕し  
身股を刺された人達がある、其所  
の森の中だけで三十万人以上の  
死体があると官憲は見積つて居る、



(5)

ポロランドの家解放委員会の  
招待を受けてポロランド入りとし  
た外記記者団の一人として、私は  
ソ聯ポロランドの惨害調査官の  
側に座った、そして証人調べをや  
った、其中には、苦押留所に勤務  
する三名の将校も居た、  
此人達は平気でマイケニクは最  
中組織的組織滅亡（組織滅亡）  
と言った、勿論彼等自身は直接  
殺人はしなかったと言った、加  
し彼等は此の死の工場（監獄）  
しその責任を執犯者裁判に問はれ  
る事がある、



6

茲にハース、スティーブと言ふ男  
とドイフと肉の暗取引きをやつて  
居る所へ、ドイフ軍が退却を  
する時に、マイクニクに強された男  
の實驗談がある。  
或日スティーブは<sup>焼死した</sup>練瓦壁の内側に  
入つて物隠しに身を秘して居ると、  
やがて一台のトラキが現れ十二  
、三人の隊を續々とやつて来た、  
すると小機関銃を持つた射手が、  
彼等に、下りて裸脱衣しろと命じ  
た、一人の若いボーランド女が居  
たが、彼女は裸体になる事を拒ん  
だ、そこで此の焼場を愛持つて居  
る十人の愛人が、恐つて彼の女



をふくつた <sup>女は</sup> 此の痛を声を出して泣  
く、一方男はドナル一生きたあゝ  
焼いてやるゾ

他の二人の男に言ひ付けて、其の女  
の手足を縛りせた、彼等は縛つた  
女を鉄の構架に乗せて爐の中に押  
し込んだ、

「私は女が大声を悲鳴をあげる  
のを聞いた、そして彼女の頭髪が  
燃えるのを見た」と彼女の母は爐  
中に降えそそりつた」とスタード  
が語る。

証人の言に依ると、マイケルグ  
の一番怪しかったのは、一九四  
三年十一月三日であった、其日



エス・エス・エス

10 FREE  
8.5  
AGER CORPORATION  
STON, VIRGINIA

十千ス覺は一萬八千人から二万人  
の修業を、銃械、絞械、尾斯攻め  
の塵穢した。

(その他の方格)

誰れもマイヤサニクに、進付くと  
下段アメリカの洗動字を以て見ると  
同じ位置に此の抑消所を以て、片  
一に眼に入る者は十二呎の二重に  
高圧電気の通いた

鉄糸網を張った極である。

其中に幾棟の幾棟の緑の端取つ  
た建物を見る事あり、二百棟以  
上もあり、アメリカの管舎に似た  
ものがある、高圧電流鉄糸網極の  
外部に一四層高きの機密銃銃和在  
る、其一方の隅に二面匹のどう猛  
な、囚人を追ふ様に訓練されて居

8)



大を運つてある。

室入口の近くが風呂場になって居る。ガスが漏れられる人は其所で脱衣してシャワーバスに入られる。ガスが不致に今も爆性者は必ず此の風呂に入られると言ふのは、暗い湯に身体が膨張してがスリ効力を増す為である。

或る囚人は其の頃の室を穢された、其室は全部空気の漏れを以て目張りかきとあり、天井に根の一部に小さな穴がある、其穴の蓋を付けて、其穴から十ヶスガツはサウクロン"と云ふ毒を其の縫を口をあけて吸ふんだ、此の毒気

⑨



を吸ふと直ぐ死んでしまふ。

風呂場の近くに、今二箇の穢人  
室が出来て居る。西方共<sup>サ</sup>イロ  
二乃<sup>ニ</sup>モモノヤサイド尾斯<sup>ツ</sup>の<sup>ツ</sup>チ  
サ<sup>チ</sup>も使えり櫛に<sup>出来</sup>成りて居る、其  
の一つは十七メートルの四角の室で  
其中に百人から五十人位の一放  
に穢したとぞいた。其室の床の周  
りには剛鉄管があり二十五センチ  
置きに孔が明けである、其孔から  
山崎<sup>モノ</sup>ヤサイド尾斯が出来  
有りである、而して此等の室には  
硝石をはめた、のち窓が<sup>壊</sup>壊つて  
あつて其所から内部を覗き、毒の  
効因を計つて、死体を搬出する時  
節を決定する為である。

(10)



FIELD FILE  
85  
INGER CORPORATION  
STON, VIRGINIA

25-1-100

此の瓦斯絨人室のある所から約  
一哩離れた所に<sup>レミガ作りの</sup>大鉄焼成爐  
(大葉爐)が、それは見た所、鉄  
工所の熔鉱爐の小さいの見たやう  
である。燃料は石炭を其火熱を電  
気化掛けの施風器で各爐に送る化  
掛けに成つて居る。そして煉瓦建  
物の両側に五個一つの鉄底がある  
、其の一方は死体を搬入する口で  
、他の一方は骨や灰をけり出す所  
である。

此の大葉爐は一日に一千九百個  
の死体を灰にすると言ふ、煉瓦し  
の記録を打つて居る。

此の大葉爐から程近い所に沼山

(11)



の土製の瓶が並べられていた。それ  
には個々の遺骨を入れてあり、そ  
れを家族の者に賣つて居たと云ふ  
而も對手取りで他段中遺骨最上二  
千五百マール位に賣つて居たと  
証人は語つた。

私共は又たコックリート製の車  
を見た、ドイツ人は其上に死体を  
置き、死人の金の残齒を皆取り壊  
しを取つた後に火葬にしたと云ふ  
、火葬に於ける前に金齒を採り死体  
の胸に探検者の探針の金いもの  
は焼けあひ規則妙つたと云ふ。

此の大きな浮橋所の一倉庫を覗  
いて見た、其倉庫には床一個に、

12



FIELD FILE  
8.5  
FARM CORPORATION  
STON, VIRGINIA

コサヤノ

(13)

丁度百姓が麦倉に半の麦をいれ左  
様に靴の山があらた、女もの男もの  
のいさりのは一歳位の子供のは  
と靴の山があらた。  
トイウ人は此の抑留所を靴の工  
場にたとばかりと云く、犠牲者の  
靴や衣物を剥ぎ取り、それを自由  
民に配給して居た由の云、昔所に  
残されて居たものは、使用出来ぬ  
し物ばかりであつた、つくつく  
水畜犠牲者の履いて居たと思ひ  
たり見て居ると、アメリカ製の靴  
が、トイヤー、ウルトと名前打つた靴  
であつた、  
ルアリに在る他の食糧を調へ



ユダヤ人

LIBRARY  
8.5  
PAPER CORPORATION  
STON, VIRGINIA

(14)

て見た、場所<sup>蔵乃とちき</sup>は囚人の衣敷を仕める  
ところ倉庫、私は其倉庫に衣敷を  
ドイッへ輸送する指揮官をして  
た<sup>面白</sup>と<sup>面白</sup>ドイッ将校に尋ねた所、  
彼れの言ふにはマッパニフと<sup>蔵乃</sup>  
此を囚人から靴を脱いだ衣敷が<sup>蔵乃</sup>  
ヶ月間に十八荷貨車ドイッが<sup>蔵乃</sup>  
送り込んだとの事であった。  
如上の如くマッパニフに於ける  
十人十費の戦争犯罪の直接の責任  
は<sup>蔵乃</sup>知らぬものである。

私昔記者が語ったとおり二人  
凡てが、十人十費全部が戦争の  
同胞を殺したと同様の手段と方法  
に<sup>蔵乃</sup>なる所<sup>蔵乃</sup>なる可きものである



工部省

85  
INGER CORPORATION  
STON, VIRGINIA

と従つて居るの

お西板西委員会の副議長アレント

✓、ウヰルス氏は、英、米の輿論

の一部は敗戦、ドイツにお手柔か

に取扱ひを希望する人々が、此

の輸入抑留物を見物に来てくれば

いふを遺憾として居た。

右委員会は、此の懐い記念物

を現在のよ、保存して、ドイツ人

の暴虐性を後世に見せる記念物と

する計画があると語つた。

(15)



ユダヤ人  
被害  
犠牲

私達の憎むところ

最近十千スの執人工場

最近十千スの人字居職場から

口バヤ けて助かる三人の身体

いふや人の惨酷性は、普通文

明人の相像もなぬ程の凶暴さ

は、その胸の悪く成る程の中

のばかりで、たに描けるものは

米国の大統領の事務所にある

新地辟移民政府から報告を

れたもの、席次に過ぎないの

ある、此れは一般調査と符合を

るのやあらう、アメリカ人の見

積りは実際の犠牲者の三百分一

① 位に成つてゐる。



此一文は雑誌を売らんが為めの

資料を多く読者に感興を与へ

る為めである、二人の若いス

ロバキヤ猫太人と、一人のポー

ランド士官が、<sup>挿入</sup>刻々と死を回

前にして、<sup>一日く</sup>体験した事実を綴つた

ものである。

此世間の噂々や、路上で拾つ

た紙しとは異い、此輩三人が虎

口を遁れる迄の身の毛も立つや

う未体験の事、世界人類の前

に吾等に発表する可きものあり

とある。

此部をレエヤのハースタウ抑留

所で「病疫館」と呼ばれて居る建



物が出来た、其れはやかると言  
 き七号館として作られたもので、  
 私は其所の番人をさせられて居た  
 、実際に其所は異工往きの候補者  
 を集める場所であったのである。  
 修房や囚人を労働の出来ぬ体  
 力の者は皆其所に送られたのであ  
 る。其所では施療士の看護のた  
 る。其れは問題では無い、毎日  
 百五十人位は死んで行く。  
 同時に得所「掘削」と呼ばれる  
 事をやり出した、毎週月曜日に当  
 直医が修房の病人の中、有斯症生  
 者を見て焼く捨てる人数を提示を  
 する、此の指令を受けた者は、トラ



7/7に積られて程なく樺の森に遇  
はれる。

緘人工場の名は此の頃から来た  
ものと思われる。即ち其の中、中に長い  
壕が掘られてあり、其中に死体を投  
げ込んで焼くものがあるが、其壕に  
沿ふて長蛇連の瓦新坊がある、ト  
ラックを運ばれて来た者を見れば生  
きて居る者は、其の瓦新坊を望見  
され壕内に投出せられるものがある、  
毎週の七号砲からの送り込み予定  
は二千とあつたが其のうちに二百人は  
各自当の結果の自然死と入るは「  
擧別」に依るものと思ふ瓦新坊に生させ  
られた者であつた。



私は一九四三年一月十五日に  
所にて、直接毎日の出来事を見  
て居たのである。

私が居た所に此の七号館から死  
体と成つてか或は瓦斯ガスから揮  
の森の壕で焼き捨てられた者が五  
万人は居たであらう。

其抑留所は一万二千人のロシヤ  
の戦俘は馬車に建てさせた由の  
あるが、勝ひの午後ひき立てられ  
少数を除くの外は殆ど全部病疫、  
や、野晒し、虐待で死んでしまつ  
た、而して今一つの建物は未完成  
のため、残されて居る。

私共スロキヤ人の護送隊が



OLD FRED  
8.5  
LINGER CORPORATION  
LINGTON, VIRGINIA

浮屠園

オーストラリアに着いたのは二番  
目であつた、そこがバークスウ  
に護送されるのである。バークス  
ウはオーストラリアの管轄下に在つ  
たのである。  
吾々より先にオーストラリアに  
到着した浮屠は、其所に留めて、  
ドウ、クツプ、シーメスなどの  
軍事工場を動かさせるか、さもな  
くはバークスウへ送るか、それたの  
である。

6  
吾々の後に引続いた数箇の浮屠  
護送隊が到着した、主におうそ  
ト人トスロバキヤ人と猫太系と猫  
太系といふ者もゴツキやであつた、



全部ハ、十の抑留所に収容さ  
れた。

所が或日一千六百人の護送団が  
到着した、其中の男四百人と娘二  
百人及び抑留所に収容され、残り  
一千人の男女、子供全部直接、樺  
の森に送りられ、跡で轍を焼い  
しめた。

此の抑留所は、抑留所  
的に送られて来たもの、を此  
の抑留所で待たせ、最初であつ  
た、抑留所に、一、二、三、四、  
五、六、七、八、九、十、の  
外、人の虐待は、聞かぬ、で、  
つた。

7  
其後、永く、一ヶ月も、トラウマ



橋邊に張けたの  
面が何等の障礙を  
生ずるに後雪國を  
各

其の後に到着の浮屠護送隊は同  
じ方法を繰り通したのみだった。

大畧、徐雷男子の1割、女子の五分  
(百人の中僅か五人)が抑留所へ  
送られ、残部は~~送られ~~直ぐに在野新  
生させられ

隊員は順番に番号を付けられ  
 各隊の正、私共は、かゝり判りと  
 次ぎくに到着する、各隊の数や運  
 搬を知る事が出来た、左は其の  
 一部分である。

約四五〇人のスロバキヤの家族



中、五十名の娘を抑留所に収容し  
た。此外残りは全部は死んだ。

約四千のフランスに帰化した。

る猶太人達、其強姦全部知識階級

の人達であつたが、女一千人だけ抑

留所に収容し、残三千は死んだ。

一千人のスロバキヤ人、労働力

を家族、少数の女を抑留所へ入れ

残りは老人も子供も皆死んだ。

二千人のフランス人キリスト教

徒、共産黨員、及び其他の政治犯

人等、其中にはトールズの兄弟

やレオ、ブルームの弟など名士

が居たが、その人達は拷問にかけ

られ、苛責を受け、死を蒙る者加



へられた後、尾斯をやらせ焼かれ  
てしまつた。別に

五面の本<sup>ホーランド</sup>島猫太人、其大部分

はドウウカウの移民たつたのである

が前記のフラスコ<sup>ス</sup>と合計二千

五百人尾斯を殺され焼かれてしま

つた。

七百二十人のスロバキヤ人の中

娘七十人及び抑留所に入れられ、

残りのウラニ<sup>ス</sup>人は樺<sup>白</sup>の森林で満ち

尾斯を喰はせられ白骨と化した。

一万五千人の帰化フラスコ人、

又<sup>ニ</sup>捕一人、オラニ<sup>ス</sup>人。此の数

は一九四二年の七月一日から九月

十五日迄送り込まれた俘虜隊の



総人数の一割以下であるが、<sup>大抵</sup>家族  
連れの浮浪の遊藝隊が、欧巴の老  
あかり直接、此の白樺の森に送り  
込まれたので、臨時特別部隊を編  
成し、夜、昼、夕方、三時、五時と  
焼き方を切り替えた、此の期間に  
数万人の生霊が此の森で果され  
たのか。

帰化人、ユルキ、オ  
レンジの猶太人は、總計一万人  
足らずの女が助かっただけで、其  
他は輪に見積つても約三万人は、  
尾斯を生かされたのである。

11  
その他ユルキ、ユルキ、オ  
レンジの浮浪隊の中に一割た



亦大に抑留所に収容せし、残りほ  
瓦斯で焼かれた者一万五千のう  
七万人と推定せられたる。

一九四二年の十二月十七日二百  
人のスロバキヤの若者達から編成  
された臨時特別部隊が謀叛と逃走  
を企てたと言ふ理由で官部被禁固  
身瓦斯室に押込まれて焼かれた。  
此の殆ど可成りはマコウカ  
到着したばかりのポーランド人に  
やさしくした。

此の特別部隊に属する連中は  
離れた所に住はせられた。それは  
被禁の果物の成りふい無味で、  
普通人は被禁に近付かふい、それ



はかりでは無い、彼等は何時由不  
漸で、貧窮で、自放自棄で、特別  
に残忍で多量悲である、たかゞ彼  
等の仲間同士と組織と今いふ事を可  
は何か珍らしい事では無いのである  
る

此頃より、~~彼等~~オーストリアの工  
や人の組織が組織的に始まった、  
三十日間トラックは到着をきり電  
しに貨物を運んだが、甚だしい僅か  
五千人位だけ抑留所に入れたが中  
に残りは到着順に瓦礫倉へ押入れ  
んとお付けた、増強をこの三  
十日間、~~彼等~~運んだ者の中、八万  
から九万人は此の白樺の木に特別







二月中は毎日定期とあり臨時便  
送隊が到着した、ホーラー人、  
フラー人、ナロー人、白人、  
と瓦斯送りにされた、二月中に  
瓦斯経堂した者約九万と見積られ  
とある。

一九四三年の二月に最新式の火  
藥爐と瓦斯炉がバツケツウに建設  
されたので此の白樺の森で塚の中  
に投出せしむ焼くのは廃止され、  
古い藥爐の方の生靈を~~瓦斯~~瓦斯爐を生か  
せしむツツ建は、折々壊はされ、  
幾百坪の白骨を製造せしむ塚は埋め  
立てられ、灰は近くの抑留所獄舎  
附屬の農園へ肥料として送られ



何處で悪魔が踊つて居たのか、

其痕跡を、残して居る平地に帰

つた大地の土の上に、多量な赤土が

一か所、最も野原と化して

しまつた。一方

一九四三年三月新設せられた最

新式の織人工場の閉鎖式に、

これから多量の名士が集つて来た、

其日のプログラムは、クラウチ

連れて来た工場の千人を、

往生させて、灰に成る仕組であつた

、軍部及び民間の十人、名士連

は、其の人間織機機構の完全を、其運

用の結果に、ついで大端定、此の

16 新設織人工場を、口を揃へて賞讃し

此の織機は、其の構造、材料、製造、使用、管理、すべて、日本人の手で、完成したものである。



OLD FASHION  
65  
LINGER CORPORATION  
JACKSON, VIRGINIA

たは下なる屋の控へ室と思はせ

バーベキューの工場(?)では四個の火葬<sup>炉</sup>を使用して居た、其中の

二個は大きくて、各々三室から成り、瓦斯坊と死体室、分室及び火葬

爐である。大なる煙突が此の火葬<sup>炉</sup>から室中高く立つて居る。

其の煙突の根元(四)に九個の火葬爐があり

、各火葬爐には四個の口が明けて

ある、其の各口が一度に四個の死

体を吞む、一時半の後は完全に灰に成る。

此の割で送付すると一日に約二

千の死体を送付するに成る。

一つの接待室が出来て居る、其



OLD FASHION  
FINGER CORPORATION  
NOTON, VIRGINIA

これは丁度風呂屋の控へ家と思はせ  
る仕掛である。

扉を叩いて入り五、六歩行く

と細長い待合室の扉で両方の壁に

は丁度シャワー風呂の入口の扉に

偽装して雑仕着室を欺むく構にし

てある。

此處で瓦斯發生させるのはたう

順路を行はれる。

犠牲者達をホールに連れて来て

脱衣を命ある、皆風呂に入れて焚

へると考へさせる様に各自タオル

と石鹸とを配られる、そして尾

斯坊内へ押し込む、丁度立った果

18、下身動さぬふりあはれはスレ



流めにされる、時にはピストンと  
パツ放しと異なりギョーと詰めの  
んで麻を窓隙閉してしめる。

室内の空気が下気瓦斯能率に適  
あると近温夜が昇る迄<sup>暫く</sup>とら  
る、と獄卒がかスマスクを被つ  
て屋根に昇り三つの防臭弁を明け  
て「サイクロン」と書いた罐をあけ、

粉状の毒を罅穴から室内へ振り撒  
す。其の毒粉から瓦斯が発生しそ  
三分の一室内の生物は完全に死ん  
でしまふ、あつては瓦斯防で  
生き残つたと言ふ者はない、勿論  
以前の白樺の森では瓦斯室が不完  
全であつた爲めに、壕内大中に



投出を時に懸つて在る者も在り  
 其の多いが、其の多くは生きたまま  
 出たものも有る。此の如きものは

三分間後尾斯坊は明けられ、空  
 気を充分に換へて、例の特務部隊  
 が犠牲者の死体を手押してトラク  
 ーに積んで大焚火のある室に運ぶの  
 である。

ハートマンに在る四つの大焚火  
 と尾斯坊と一日の全部合計処理数  
 六千人と言はれて居る。

此のハートマンの四個の大焚火  
 を使ひ切らなからうと、左側に  
 部を掃除や修繕を暫時休止する  
 以外ならうと、通り道に運搬する



しきそた。

俘虜護送隊は一隊又は一隊と到

着し、此の瓦礫場と火葬場は引

却り、是に繁榮した。の端あり

其に又左(再)地「擧別」が移まつた、

此度は前よりは一層残忍に行はれ

た。一人のドクタに殺れしむ

り、この監視網とかの怖とが男と

かえり男が他の誰よりも野蠻性を

暴露した。

一九四二年十二月、初めてイタ

リヤ、ネグロ、ユダヤ人がローマ、ヒュ

ーム、トリエスト各地から護送さ

れて来た。それ等合計約三万人は

到着すると、左端から瓦礫を生さ



させられキヤビチの肥料にされて

しまつた。

一九四二年四月から一九四四年

四月迄の間に在り西々の燐れあり

此戦闘員合計七十六万五千人

が此の心リケナウ文にて是斯分

に會つた、其収派をみると、

ポーランド人、セセリ九十万一人

フランス人、ソビエト十五万人

オランダ人、清島七十万一人

ドイツ人、各日者六万人

オーストリア人、他、連邦四万五千人

ベルギー人、五万人

ユゴスラヴィヤ人、五万人

イタリア人、五万人

ルーマニア人、五万人



OLD FASHION  
LINGER CORPORATION  
WASHINGTON, VIRGINIA

リズアニヤ人 五万人

スロウニヤ人 三万人

ホーニヤ、モロニヤ 三万人

オーストリヤ 三万人

其他雜種 三十万人

オーストリヤ、オーストリア共に在る大東バ

ラウクに入れられた、其所を所指

品全部を預けさせられ、身に一絲

も残さず全裸体にされた、和達り

頭髪は剃られ、消毒せられた、哥

室から出る時、各目番号を与へる

れた、それから他の建物へ移る切

つた裸足の群を這ひ込む様にやら

れ其処に謂所登録とも言ふ事や

此は口



其登録は 吾々のたの横腹に自  
分の番号を刻される、~~此~~其の遺り方  
加えても、ドイ殊とて、吾々の  
中の幾人かは氣絶した位に酷かつ  
た。

此のオーケウサの抑留所の内  
には軍需工場が沢山あつた。吾々  
の住所は二室のコンクリート柱の  
鉄条網に高圧電氣を通し、其の二  
室の鉄条網の間所々に高い番人  
塔が在り、其内には機関銃や探照  
燈の設備があつた、内側の高圧鉄  
条網の又内側に普通の張金の柱が  
出来て居る、囚人が其の張金にケ  
ツツトでも觸るものあらぬが番塔



CID FILE  
8.5  
LINGER CORRUPTION  
INGTON, VIRGINIA

24  
の上に弾が霧と飛んで来る。  
人員は昨の時に囚人が一人死  
不在かと面々にサイレンを鳴らし  
非常線<sup>線</sup>を張り、狼犬を放つて、何  
処迄に追跡する。此のサイレンは  
近郊全体に響き渡る。もし誰かが  
捕へて宮富に渡せば好い。囚人  
の逃走を助けた者は直ぐに統制の  
刑を受けなければならぬ。だから  
逃走者は殆ど捕まる。スロバギヤ  
からオーストリアに移送された人々  
の中に私達二人だけが、一番幸福  
者で~~逃走した~~、助かったのがあ  
る。(おしるしの)将校の一人も柳田  
所に去る残った<sup>僅か</sup>十人の中の一人



25

たうたうとある。

若し逃走者が生きて捕った。

柳留所に連れて来られ、全捕の図の前

を絞首される、若し死んで見れば

見付けられた場所の入口に

座らせられ、死んだ其の午に午札

を持たされ、酒し者に成る、其れ

には「大レはコレ」の通り

四殿室に守衛を固められて居る所

上、下に指示が出ている、

「結果を働かして、其れは自由にな

れる」

一人の黙呼の時に此の形跡

が見え、其時に黙呼の爲めに

集まつた捕囚は全部外で、捜



索の結果が判る迄外で待たされ  
る、或時一人が道中をめぐり、百人  
が命を奪はれた事があった、

其時は酷寒であつたが捕囚等は  
午後三時半から翌日の十一時迄外  
外に烈風に吹きさらされた、其結果  
として凍死した者が百人も出た。  
凡そその捕囚は彼等の着物のた  
の脇下に三角の包が縫ひ付けて  
ある、而して其の三角包の中に  
国籍の頭文字を入れてある例は  
おらず、ド人は△と言つた風に。  
所がユダ人は三角の包<sup>上</sup>に星  
形に黄色の尖端を付けて星形にし  
て居る。



OLD FASHION  
85  
LINGER CORPORATION  
LINGTON, VIRGINIA

其の三角切りの色分けは、赤色が政治狂人を保護収監された者、緑色は職業的犯罪犯、黒色は主にロシヤ人である仕事に怠ける奴、ピンク色は同性愛犯、而して紫色は宗教狂信者の。一部等々であった。抑留所の食物は豆や草木の葉か5作うた紅茶かコーヒの冷えたの、<sup>最初五回までは</sup>中食にスーパ、此のスーパは水と<sup>カブラ</sup>葉菜で作うたもの、晩の點呼の時に三面ケラムのパンを配分された、此パンも三面ケラムの葉菜のたが吾々囚人の牛に渡る迄には余程減らされて居た、<sup>一定日</sup>時に<sup>虫</sup>のついたチーズ、人造

27







人々を妊娠を試験したり、輸血の試験や囚人を下投機ニヤ、ピググ代りに試験台にして居たりある。

一九四二年中囚人共は其の病気の状態に依つて分かれて居た、病院に永年居れば直ぐ梅毒、慢性病患者や、自然衰弱、半餓死状態の者、銃突で手足を切断された者の押さへ置ける等は「快楽」の患者としてあつた。

前者は其頃より組管へ「エール」注射を与へて、死刑の宣告を受け居る組であつた、それを囚人は皆知つて居た、其自滅患者と稱して居る。



OLD FASHION  
8.5  
LINGER CORPORATION  
LINGTON, VIRGINIA

30

が又左彼等は高压電線へ身を投  
げかける勇氣も持てゐた。口  
開きし頃一九四二年以後は、<sup>注射に依る</sup>  
量紙歌が始まつた。之れを囚人仲  
間で「針」の部に入つた患者は、  
衣類の中へ入れられた。彼等は  
廊下は裸へ、注射を受ける外の  
所へ連れて行かれ、待つて居る  
あつた。あつた。あつた。  
一人の獄卒に「ラー」と言ふ男が  
居た。彼は生業は靴直しと職業とし  
て居た。あつた。彼れが此、柳原所  
を多に「針」に成つた。  
こんな具合に、あつた。普通死亡率



が二十人から八十人に増加した。  
時々普通一ヶ月に一死位の総  
調が秋あり、其時に看護人の獄卒  
は附属病院の患者一人の病状  
を報告する事になって居た、其夜  
毎に二人から四人位ひつぎに  
「針」の部へ入れられた、一ヶ月  
以上も病院に居るとか、非常に衰  
弱した者は「針」患者としてその資  
格充分ありとある。  
或る常例日に紙で虐待隠蔽症  
の獄卒クラトは、自分ほんとにド  
クサーに成つたつゆりか、医師の  
命令も無いのに、自分勝手に患者  
を引き出して流射の練習をやる



彼れは至神聖か、それとて懺悔者  
の苦悶の極をえ、感<sup>快</sup>を享けるのか  
、驚歎の極をえ、その極不現忍性を察  
し、寛め苛<sup>苛</sup>苦しめ、後に弑すの  
を常として居たり

此等では單に死け病人を「針」  
で弑すばかりでなく、十ヶス黨に  
反対した政治犯人を「針」の刑

に會つた、

十三歳から十六才迄の子供が四

十人と八十人<sup>と</sup>、二回「針」

をやられた事があつた、其理由は

彼等は孤兒である事、そして一人

前の作中労働の出来事といふ事、

32 此の刑の理由があつた。



今一つ抑留所を困つた事は、虫  
と蚤の蟄居所内何処でも虫と蚤  
が一杯発生して腸紅熱が流行し夏  
に閉じられた。

一人残らず診察され、少し顔色  
の悪い者や、衰弱の甚だしい者は  
医者の手加減一つで尾斯坊行きに  
決定せられた。

病気の故に死刑に定められた患者  
の扱ひ方は特別に残酷で、非人道  
的であつた。

下科手術を受け、繃帯が甚多い、

33  
の重患者や、極度に瘦せ衰へた精  
根つゝ果てんとする者、已に快方  
に向ひつゝある者をへ、日ごとく



トラウマに積みこんだり  
彼等は皆裸体になれて居た、其  
の容貌とて由りともに見え居れな  
かつた。

トラウマは入口に横付けにする  
と獄卒共は、何の感傷もなさう  
に荷物を下す所に雑作に、不  
幸な犠牲者達を投げ下し積み重ね  
たりした。

時には百人程の中をトラウマ  
にスエ詰めになれた事は珍らしく  
ない、彼等は其の運命加いどうある  
かにヤレと知つて居た。

彼等の多数は自分達の運命と諦

34  
めて、を感嘆と稱に沈黙を守つて



左に下科室から来た患者の大部分は出血や傷口の癒え切れぬ辛さに身を悶え苦しんだ。

トラウマの困り症獄卒共は、七を一人の病に走り廻り囚人が外を覗こうと出るのを鞭で、打ち返しドツリ散らした。

憐れな犠牲者達は己に観念して沈黙し、私共は「サマシ」をする、憐れ一仇打ちを忘れるナと繰り返さるだけは忘れなかった。

35  
一人の囚人は彼の、実の兄弟を弑した。それは彼の兄弟が此の汚らしい地獄行きのトラウマの攻め苦を見るに忍びないからであった。



仕事中に、又左番人からの四寸を緘  
された者に毛髪は在った。  
石切り場の仕事中に、  
一斗押しの一斗車に、石を積んで  
急坂を押して上るのを、坂の上で  
番として居る男が、囚人等の仕事  
の効率を見て居る、少し急げる様  
で奴は坂の上迄に押して上った所  
の、石を積み上げた車と押して  
返す、あると囚人はよりめいて、  
驚かせる其上に石を積んだ、  
一斗車か、と云ふ始末

36  
私達は毎朝五十名を押留所区域  
に在る建物の解体の仕事に参加し  
たが、又仕事中に自分の足に掛



ACID FREE  
8.5  
PAPER CORPORATION  
FARGO, MINN.

を歩いて帰る者は四十人あるか  
と云ふ、残り十人は死骸を帰るか  
曰、病で死んだり、過労の労働で  
、或は壁や張り材が墮ちて轢かれ  
るか、<sup>怪我者か</sup>それでは完全に卒倒  
したのかとある。

此輩の憐れみ人共は白昼に  
下中町の黙呼にはおどけられ成り

あかつた中とある。

そんな人々は附属病院に搬送さ

れるが私は二病と痼疾を見た事

あり、

一九二一年迄はオーストラリアは軍

ある浮屠収容所であつて、其所に

は囚人の執務はとあかつたのである。



所が或晩の事、點呼の緒んだ後  
 に、又た囚人の番号を言ふて呼び  
 出した、私の記憶では確かにクラ  
 カウから来た者（エダヤ人）だけ  
 でも十八名呼み出された、  
 此の時呼び出された者は、物置  
 き室に長く拘に食せられた、其所  
 で脱衣させられ、  
 給子された、  
 紅外の中を原へ車  
 に乗せられ、  
 其所で決  
 める銃殺さ  
 れたとあつた。

昔日かゝ強硬の道を定めて要刑を  
 与へば成つた、即ちの中は普通火  
 曜日と金曜日にやつて居たが、後  
 々と強しく成つて後には大量犠牲

38



が吃まつた、即ち四十人、六十人  
と叫び出したのは銃械と同一箇所に  
三四回やる程に成つた。

一九四二年十月に、それ迄に  
イレコードII 二百七十七名の犠牲  
者を處刑した。

たゞには叫ばれた番号の患者が  
病院に居る程で居る場合がある、  
そんな時は、たゞつて其患者に毒  
「針」を一本注射して殺して元付  
ける、かの有名なポーランドの紐  
優ウサード、カレウツツは此の年を  
殺されたのをあつた。

一九四二年の十月以後は被  
の撲別の方法を変へた、新  
うたに



OLD FASHION  
85  
LINGER CORPORATION  
LINGTON, VIRGINIA

建れて来られた者は、其場を緘さ  
れるのと、殊されるのとを区別し  
てしよう、何を標準に生と死の区  
別あるのか判らぬが、死の組に  
入った者は、直ぐ第十一号館に送  
りされ、そこで処刑される。

と云つて残された組が決して安  
全であるとは言へぬ、何とかか  
とが理由を付けたり、糊塗かばか  
りの規則違反があつたか最後、二  
回とは言はす死の床へ前後に命ぜ  
りられる。

40  
何しろ多勢の者があつたか、  
死の叫び出た音等を聞き、他人の  
代理で殺される場合が往々ある。



受は免れぬ、それが人達へのあ  
つたのが判ると、其の本人を殺し  
て、後人の責任逃れをある文句で  
ある、後人の責任逃れをある文句で  
のに殺された人こそ命懸けの迷惑  
を受ける訳である。

此の通り動物より由ある悲劇の  
最後をとけた人達の死を原因の証  
據を残す為めに、相繼ぐ及ばぬ莫  
大の量の紙を浪費して居る、それ  
は、多利された一人、一人の飲水  
の病床記録、執事表、其他を以  
つて死因を胡麻化する文句は千や  
二トやつて居るのがある、下で

初めから、此の柳留所の殺人指



看護は只一人をやつて居た、初め  
はパリッテと言ふ人、中途から士  
官養成所の方へ転勤し、其後にス  
ケウチスと言ふ人が来り、私の居  
る所は看護婦の責任を持つて居  
た、

普通の平民に戦争開戦が押し  
されたり、他の獄舎から移送され  
る簡易に処刑される事があるが、  
そんな時は一家族で父、母、  
子供一所に収められるのが常で、或  
時は始まるは、五、六ヶ月位は可  
愛い男の児が、母の両腕に抱かれ  
たり、母と共に処刑壁の下で……  
……奥土庫に抱かれて死つたの  
(終り)